

ヨコハマSDGsデザインセンター×認定NPO法人スローレーベル

事業者向けSDGs研修プログラム～ソーシャルサーカス～のご案内



ヨコハマSDGsデザインセンター

×



SLOW LABEL®

ヨコハマSDGsデザインセンター×認定NPO法人スローレーベルヨコハマSDGsデザインセンター（以下「デザインセンター」という。）は、認定NPO法人スローレーベル（以下「スローレーベル」という。）と連携し、事業者向けSDGs研修プログラムを提供します。

「ソーシャルサーカス」は、障害や事情のある・なしを超え、あらゆる人が一緒にサーカス技術の練習や習得を通じて協調性・問題解決能力・自尊心・コミュニケーション力などを総合的に育む取組で、現在世界各地で広がりを見せています。スローレーベルは日本で初めてこのソーシャルサーカスを普及する団体として、取組を推進してきました。

デザインセンターとスローレーベルが連携することにより、デザインセンターがSDGsの知識、「誰もが自分らしく生きられる」世界の重要性、そしてチームビルディングやコミュニケーション促進についての講義を行うとともに、スローレーベルがソーシャルサーカスの体験機会を提供することで、デザインセンターの講義で学んだ内容を体感し理解を深める事業者向けSDGs研修プログラムを提供します。

ご関心がおありの方は、ぜひヨコハマSDGsデザインセンターにお問い合わせください。

～企画者からのメッセージ～

ヨコハマSDGsデザインセンター会員の皆様から、SDGsについてもっと学びたいとお声を多くいただきました。ソーシャルサーカスの体験により、SDGsの重要な要素である「多様性」等を実感をもって学んでいただけたと考えています。お気軽にお問い合わせください。

ヨコハマSDGsデザインセンター
総合コーディネーター
麻生 智嗣



ソーシャルサーカスは、貧困、移民、性差別、薬物中毒といった社会課題に対して25年以上にもわたり世界70カ国300を超える団体が実践している体験型教育プログラムです。互いの個性を尊重し、共創できる組織や企業文化の醸成に、是非ご活用ください。

認定NPO法人スローレーベル
理事長
栗栖 良依



研修プログラム実施の流れ

実施予定3か月前まで：
デザインセンターにお問合せ
ください。お打合せし、スケ
ジュール・内容等調整します。

研修当日：
SDGsの講義、ソーシャル
サーカスの基礎講座・体験

研修当日または後日：
デザインセンターによるフォ
ローアップ（講義実施、Y-
SDGs認証等の相談）

研修プログラムカリキュラム・価格～まずはお問い合わせください！

【カリキュラム例】

- ・SDGs基礎講座
- ・ソーシャルサーカス基礎レクチャー
- ・ソーシャルサーカス体験
- ・フォローアップ

※その他、ご希望に応じてスローレーベル栗栖理事長の講演等、プログラムを追加することも
できますので、ご相談ください。なお、SDGsの講座の内容は、デザインセンターが各事業者様
とのお打合せの中で詳細を決定いたします。（追加プログラムには別途費用がかかります。）

【価格（参考）】

30万円（税別）※参考価格であり、内容により変動します。まずはお問い合わせください。

対象者

横浜市内の事業所の有無にかかわらず、どなたでもお申込み可能です。
ただし、個人の方ではなく事業者（企業、団体、学校等）単位でのお申込みを想定しています。
詳細はご相談ください。

実施場所

原則、申込者様側で実施場所のご用意をお願いいたします。体育館や広い会議室・スタジオ等
の屋内で、運動ができる場所が必要ですが、詳細はご相談ください。申込者において場所の用
意が困難な場合、ヨコハマSDGsデザインセンターでお手伝いします（会場費用はご負担いただ
きます）。なお、横浜市外で実施する場合は、別途スタッフの交通費のご負担をお願いします。

ソーシャルサーカスとは・・・

障害や事情のある・なしを超え、あらゆる人が一緒にサーカス技術の練
習や習得を通じて協調性・問題解決能力・自尊心・コミュニケーション
力などを総合的に育む取組で、現在世界各地で広がりを見せてい
ます。スローレーベルは日本で初めてこのソーシャルサーカスを普及する
団体として、取組を推進してきました。

 お問い合わせ先

ヨコハマSDGsデザインセンター
contact@yokohama-sdgs.jp
050-3749-7415

この研修で学べること



①SDGs × チームビルディング

チームビルディングとは、チームメンバーが強い組織を構築していくための手法です。チームメンバーが上下関係なくそれぞれの強み・多様性を認め合い、目的を確認・共有することで、それぞれのスキルや能力、経験などを最大限に引き出し、目標を達成できるチームづくりに取り組んでいきます。コミュニケーションがとりづらく、個々の力を発揮できないチームは、成果を発揮できないなどの問題が出てくる可能性があります。

そして、SDGsの取組を事業者の中で進めていくためには、こうした、多様性を認め合い、目的を共有できる強い組織づくりが重要である一方、理解が欠けたままの取組が「SDGsウォッシュ」と言われる取組になってしまう恐れもあります。SDGs達成に向けて必須ともいえる、「チームビルディング」の研修としてご活用ください。

◎期待される効果

BEFORE…

- ・ 無意識に遠慮したり、正解を求めてしまい、言いたいことが言えず、個々の強みを発揮できない。
- ・ 共通の目的意識が薄く、主体性を持った個のチームとして取り組めない。

AFTER…

- ・ 自分及び相手の理解を通じて、お互いの強みを活かすという視点が持てる。
- ・ 共通の目的意識をもって、チームとして成果を出せるように行動できる。
- ・ 新しい視点・広い視野を得ることができる



② SDGs × ダイバーシティ

これからの組織づくりにおいては、多様性を持つメンバーが、それぞれ自分らしく働き、最大限に力を発揮できる環境を作ることが必要であるとともに、自らのチームだけではなく商品開発・営業等の視点においても、持続可能な経営には必須となっています。

SDGs達成に向けた取組においては、経済・社会・環境の課題を統合的に解決することが重要とされています。そのヒントを得られる「ダイバーシティ」の研修としてご活用ください。

◎期待される効果

BEFORE…

- ・ 社会の変化と多様性が求められる現状に対応できていない。
- ・ 障害や事情といったメンバーが持つ個性への理解が足りていない。

AFTER…

- ・ 多様な個性を理解し、そのメンバーがお互いよい相乗効果をうみだす組織づくりができる。
- ・ 企業経営・商品開発に広い視野を活かすことができる。

ヨコハマSDGsデザインセンター × スローレーベル の研修のアピールポイント！

SDGsへの取組が、取引先の増加・就職希望者数の増につながり、企業の成長機会となる一方で、SDGsに取り組まないことが長期的にはリスクともなり得ると言われています。そうした状況下で、SDGsに関するアドバイス（年間相談件数：300件）に対応してきたヨコハマSDGsデザインセンターが、いまなぜチームビルディングが必要なのか、そしてダイバーシティの理解が必要なのか丁寧にご説明します。

そして、スローレーベルの「ソーシャルサーカス」により、メンバーの皆様には、単なる座学ではない、体感して学べる、ここにしかないプログラムで学んでいただけます。

① SDGs × チームビルディング

② SDGs × ダイバーシティ

SDGs基礎講座

これまでヨコハマSDGsデザインセンターが年間300件の企業相談、各種プロジェクトなどを通じて得た経験を踏まえ、SDGsの基礎から企業経営に生かすポイントなどについて、短時間で講義いたします。

この部分については、以下のメニューから組み合わせてご利用いただけます

スローレーベルによる講義

サーカス体験をより効果的なものにするために、スローレーベルやソーシャルサーカスの意義、ダイバーシティなどの視点などについて、短時間で講義いたします。

申し込み事業者専用

ソーシャルサーカス体験①

様々な障害や事情を持つメンバーとのサーカス体験を通じて、マインドセットの形成や組織内コミュニケーションの活性化、チームで目標達成することの重要性を学びます。

申し込み事業者専用

ソーシャルサーカス体験②

様々な障害や事情を持つメンバーとのサーカス体験を通じて、多様性への理解、様々な障害や事情を持つメンバーへのコミュニケーション方法などを学びます。

スローレーベルが定期開催するソーシャルサーカス体験への参加

様々な障害や事情を持つメンバーとのサーカス体験を通じて、マインドセットの形成や組織内コミュニケーションの活性化、チームで目標達成することの重要性、多様性への理解、様々な障害や事情を持つメンバーへのコミュニケーション方法を学びます。

※こちらは、一般の方も参加されます。

※サーカス体験の内容については、プログラムの特性上具体的にお示しできません

体験後のフォローアップ

体験を踏まえ、どのように企業経営に、マネジメントに生かしていくべきか、受講企業毎に個別フォローを行います。また、併せてY-SDGsについてのご相談に対応いたします。

こんな方におススメ！

こんな方におススメ！

- 新入社員のチームビルディング研修を検討中の方
- チームで新規事業開発、新商品開発を実施しようとしている方

etc

- 特例子会社で、さらにダイバーシティの推進を検討している方
- これから、ダイバーシティの推進を検討中の方

etc